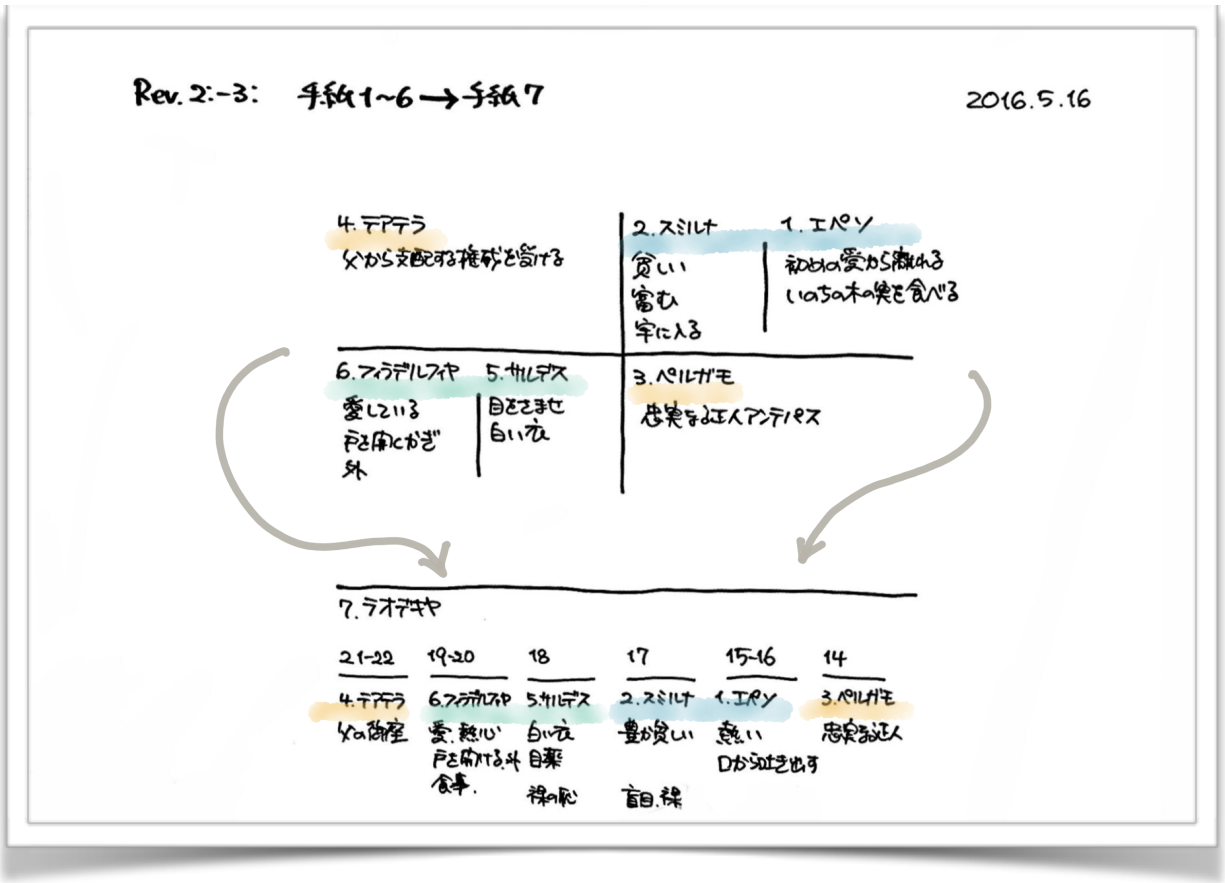
ヨハネの黙示録1:-3:



黙示録の7つの教会の手紙、2章から3章のところの分析をして、1(エペソ),2(スミルナ),3(ペルガモ),4(テアテラ),5(サルデス),6(フィラデルフィア),と歴史順に並んでいる。創世記(エペソ),、出エジプト記(スミルナ)、民数記(ペルガモ)がモーセの律法。そして、王たちの歴史(テアテラ)、預言者(サルデス)、エズラ・ネヘミヤ(フィラデルフィア)の捕囚の預言者の書物。この大きな歴史の2つの流れに従って書かれていて、7番目は創造の7日と一緒で、6と1に分かれます。

7のラオデキアの教会の対象になっている時代は、使徒行伝と手紙。AD30年から70年まで。福音書から始まった新しい創造の途中の時代、70年までの時代が書かれています。ここも6つの段落に分けられます。6つの段落に分けてみると、この最初の6つの手紙と並行しているような言い方がそれぞれあって、ラオデキアの時代は、創造から新しい第2の神殿が作られる時代全体の裁きが来ている。古い時代の最後の終わりの日なのだということがわかるような位置付けになっている。

最初は「忠実で真実な証人」となっていますけれど、ペルガモの中にある忠実な証人アンテパスというところがキーワードになっています。最後がテアテラ。テアテラの教会は「勝利を得る者には」というところですけれど、「神の子が父からの支配の権威を受ける」と言っているのは、「父の御座につきます」と言っているのと同じことになります。この2つの段落が頭とおしり、1256,1256と並んでいます。

1が「初めの愛から離れる」「いのちの木の実を食べる」なのですけれど、口から吐き出すのは食べたものを吐き出す。こちらは、食事する、一緒に食べるという話があります。愛ということですけれど、熱心が妬む神の熱心ですから、熱心と愛が並行していることばです。そして口から吐き出す。ここは特にエペソかなと。スミルナのところは、逆といえば逆です。スミルナは貧しさを知っている、でも実際あなたは富んでいると言っているのに対して、豊かだと自分では言っているけれど、実は貧しくて裸ですと言っているのが、スミルナの手紙と17節。サルデスのところは、目を覚ませ、目を覚ませ。白い衣を着せられる。ここの18節に、目が見えるように目にぬる薬。それと、恥をあらわさないための白い衣ということで、直接きます。19、20節のところは「愛する者を叱っているので、熱心になって悔い改めよ」と言っていますが、3章9節で、「私があなたを愛していることを知っている」と言っているように愛の話があります。それと、戸を開くかぎ。それと、外に出て行くことがない。こちらは、外にいるのですね。キリストが外で叩いている。ここはマタイ24章のところを思い出します。戸を開けて一緒に食べますよということを言っています。エペソ、スミルナ、サルデス、フィラデルフィアの順番にはなっていますけれども、エペソとフィラデルフィアは並行しています。熱いことと、食べることと、愛。スミルナ、サルデスは、貧しい、豊かという話と、盲目である、裸である。実は持っていないという話ということで、abbaの並行なのですけれど、エペソ、スミルナ、サルデス、フィラデルフィアの手紙を見ると、出だしがエペソとサルデスが同じである。似ている。スミルナとフィラデルフィアには、サタンの会衆に属するユダヤ人だと自首する者がとなっていますが、ababという並行がありますので、この2つずつ(エペソ、スミルナ／サルデス、フィラデルフィア)がセットですということが、それを見てもわかると思いますので、1から6までの手紙の内容をもう一度確認して、ラオデキアの手紙の時代、この黙示録が書かれた時代に対する裁きの宣言である、警告の手紙であるということがわかります。

黙示録 7つの手紙（Rev. 2:-3:）	（1）エペソ	（2）スミルナ	（3）ペルガモ	（4）テアテラ	（5）サルデス	（6）フィラデルフィア	（7）ラオデキヤ
〜方が言われる （証人）	7つの星、7つの金の燭台	初めであり、終わりである	両刃の剣、口の剣	燃える目、輝く足	7つの御霊、7つの星	開き閉じるダビデのカギ	
旧約の歴史	創世記	出エジプト記	民数記	列王記（前預言書）	預言書（後預言書）	バビロン捕囚後 エズラ記・ネヘミヤ記	AD30-AD70
	エデンの園での堕落	エジプトで奴隷	荒野での戦い	王たちの時代	預言者の時代	捕囚からの帰還	終わりの日 （旧約の終わり、新約の始まり）
	初めの愛から離れた どこから落ちたか思い出し 神のパラダイス（園）にあいのちの木の実	死んで生きる方（贖い、監獄から、奴隷の家から、イサク、ヨセフ） 労苦を知っている（労役の叫びが神に届く Exd2:23-25） 牢に入れる 十の苦しみ いのちの冠（ヨセフの支配の座、Gen 41:、アロンの大祭司のかぶりもの　Exd 28:36-38）	（荒野）住んでいるところ、サタンの王座がある バラムの教え 隠れたマナ（契約の箱の中の） 白い石に新しい名（大祭司の胸当てにイスラエルの記念の名 Exd 28:9-12）	神の子（ダビデの子） イゼベルの姦淫と呪術（2King 9:22） 患難（エリアの時に3年半飢饉） 詩篇2篇の諸国の支配、父からの権威	7つの御霊（Isa 11:2 主の霊） 自を覚ます（預言者の声に聞く耳なし） 幾人かいる（残りの者） さばきが迫っている 白い衣（亜麻布の衣 Ezk, Dan）	サタンの会衆に属する（サヌバラテ） 新しいエルサレム 神の都、神の聖所	地から吐き出す（Lev 18:24-28）
神殿のさばきの予言 Mat 24:-25:							
モーセの律法と預言者（Luk24:44, 使徒28:23）	モーセの律法	モーセの律法	モーセの律法	預言者	預言者	預言者	ー
	人	兄弟	子ら、民	子ら、民	人	兄弟	
	罪	悪者、偽ユダヤ人	偽預言者、異邦人	偽預言者、異邦人	罪	悪者、偽ユダヤ人	
	偽善、偽りの義	偽教師、偽兄弟	不品行、偶像礼拝肉	不品行、偶像礼拝肉	偽いのち、偽聖	偽教師、偽兄弟	
	離れる	苦しみ、ののしり	教え	欲望	忘れる	試練、うそ	
			新しい名	父	父	新しい名	
		死んで生きる方			生きているが死んでいる		
	ニコライ派		ニコライ派				
	神のパラダイス					神の都、神の聖所	
			白い石		白い衣		
	偽りを見ぬいた		信仰を捨てなかった	初めの行いにまさっている		ことばを守り名を否まない	
	愛、初めの行ない			愛、初めの行ない			
			信仰	信仰			
		死に至るまで忠実	殺されても信仰	しっかり持っていよ		しっかり持っていよ	
		牢		大きな患難		全世界の試練	
	労苦と忍耐を知っている			奉仕と忍耐を知っている			
	いのちの木の実	第二の死	マナを与える	支配、権威	白い衣（治める祭司）	新しい都	父の座